

### 教育文化の拠点づくり

質問者 寺澤 潤 (自民党)

草薙・東静岡地区の「教育文化の拠点づくり」で目指す姿はどのようなものか。

**答弁** 本市におけるまちづくりの基本的な考え方は、地域にある資源を見つけ磨き上げることである。草薙・東静岡地区には、大学をはじめ今後ますます発展が期待できる地域資源があり、市全体の教育文化の向上につながる先駆的な地区であると考えている。

今後、さらに高齢化が進み、ますます高齢者の活躍する場が拡大する中で、本市として、草薙・東静岡地区を単なる若者のまちにとどめるのではなく、リカレント教育も含めた幅広い教育という視点に立った、生涯にわたる教育文化拠点としての姿を目指していく。そして、市内の他地区はもとより、他都市の見本となるようなモデル地区として発展するよう支えていく。

### 農薬・殺虫剤の使用実態と情報公開

質問者 松谷 清 (緑の党)

農薬等の使用にあたって、学校ではどのような点に配慮しているか。

また、公共施設での農薬等の使用指針の策定と使用履歴の情報公開をする考えはあるか。

**答弁** 29年度に教育委員会から全小中学校へ国からの通知を周知し、農薬の使用は最小限の区域にとどめ、使用時間帯、飛散防止等に配慮するよう指導している。なお、この通知で指導されている農薬の使用記録の保存は、約半数の学校で確認できるとどまっていたため、改めて徹底するよう指導していく。

使用指針は、国のマニュアルが詳細であり、これを施設管理者へ周知徹底することで有効に機能すること、他自治体での策定事例が少ないことなどから市独自で策定する予定はない。公共施設等での農薬等の使用履歴の情報公開は、実施に向け検討を進めていく。

### 中央卸売市場青果部の取扱量減少

質問者 望月 賢一郎 (共産党)

中央卸売市場青果部の取扱数量の減少が著しいが、この原因をどう捉えているか。平成25年の青果の卸売業者の合併が、減少要因の一つではないのか。

**答弁** 主に三つの要因が考えられる。①高齢化等による農業従事者の減少に伴う国内生産量の減少、②産直取引や契約栽培、ネット通販等による市場外流通の増加、③単身世帯や高齢世帯、共働き世帯の増加に伴う外食や加工食品等のニーズの高まりによる最終消費の形態の多様化に市場が対応しきれていないことである。

合併は、市場を取り巻く環境の変化に対応し、経営力の強化を図るためと伺っている。今後も経営力を一層高め、消費者に安全・安心な生鮮食料品を安定的に提供する役割を果たしてくれることを期待している。

#### 語句説明

##### リカレント教育

学校を卒業した後に、最新の知識を習得するため、再び教育機関で学び直すこと。

#### 語句説明

##### 養浜事業

台風等の高潮や波浪から沿岸地域を守ることを目的とした海岸保全対策の一つ。防潮堤、離岸堤の整備と合わせて事業を実施することで、より効果的に波の力を弱めることができる。



どなたでも弾けます！聴けます！

### 「100日プログラム」まちかどピアノ

質問者 堀 努 (自民党)

市長マニフェスト2019「100日プログラム」の一つであるまちかどピアノの目的と概要はどのようなものか。

**答弁** 本市では30年度から、まちは劇場パフォーマンススポットを8か所設けている。

まちかどピアノは、まちなかに誰でも自由に弾けるピアノを設置することで、音楽に親しむ場が生まれ、多くの人に表現の場を提供する新たなパフォーマンススポットとして進めていく。ここでは、ピアノを弾く人と聴く人の交流も期待でき、また、ピアノの音に足を止めることで、まちに対する新たな気づきも生まれるなど、まちに活気を生み出すことを目指していく。

本市第1号のまちかどピアノは、玉川小学校で使用していたピアノを再利用し、清水駅前銀座商店街に常設する。

### 石部・用宗海岸の環境整備

質問者 島 直也 (自民党)

石部・用宗海岸における養浜事業の効果と砂浜化への取組についてどう考えるか。養浜事業を所管する経済局と人を呼び込む観光交流文化局が連携することで、交流人口増加等に向けた課題を解決していけるのではないのか。

**答弁** 石部・用宗海岸では平成17年度から養浜事業に着手し、安倍川から毎年約1万立方メートルの砂利を搬入しており、徐々にではあるが浜辺が回復し、市民の憩いの場としての利用機会も増えている。また、夏場には海水浴場としても利用されており、砂浜化への要望も聞いている。今回、経済局と観光交流文化局が連携して、海水浴場予定地において養浜事業により試験的に砂を搬入し、砂浜化への検証を行う。今後も海岸の保全と、海水浴場としての利用を踏まえた質の高い海岸になるよう、局間連携を図っていく。

### 安倍川花火大会

質問者 加藤 博男 (公明党)

安倍川花火大会の歴史を市はどのように認識し、今後の安定的な実施についてどう考えているのか。

**答弁** 花火大会は昭和28年に市民団体により戦没者慰霊と戦後復興への祈りを込めて東海花火大会として始まり、安倍川花火大会の名称となった後も観光行事として発展を遂げた。現在、5学区の地域住民からなる安倍川花火大会本部が実施し、多くの方に感動を与える催しとして定着していることは、住民主体のまちづくりにおいて大変意義深いと認識している。

市としては観客の安全確保が大会の安定的な運営に繋がると考え、警備体制の構築のため、平成29年度より財政的支援を強化してきた。今後も大会本部を始め、関係機関と連携協力し、安定的に実施されるよう努めていく。

#### 語句説明

##### 市長マニフェスト2019「100日プログラム」

第3次総合計画後期計画（令和元～4年度）のスタートダッシュを意味・意識づけするものとして、市長就任100日以内に実施又は開始する取組。

- ①わくわく給食の実施、②市長ミーティング室の実施、③しずおか魅力発見ツアーの企画・実施、④まちかどピアノの設置、⑤職員コンシェルジュ（案内役）の拡充、がある。

#### 語句説明

##### NEXTワークしずおか

就労をはじめとした社会参加に関する相談に応じる高齢者向け窓口。市も会員である静岡市生涯現役促進地域連携協議会が運営し、既存の就職支援施設や雇用促進施設、民間企業の情報を集約している。

##### WeWork

平成30年に日本に進出したコミュニティ型ワークスペース。メンバーや企業にオフィススペース、コミュニティ、支援サービスを提供している。

静岡市はギンザシックスに自治体では国内初となる平成30年10月1日に入居。現在は東京スクエアガーデンにて、市内企業と入居企業とのビジネスマッチングや企業誘致のほか、多目的スペースでのPRイベント等シティブロモーション等を行っている。

### 中小企業への支援

質問者 稲葉 寛之 (志政会)

静岡市中小企業・小規模企業振興条例を通じてどのように中小企業を支援していくか。

**答弁** 中小企業・小規模企業振興条例の策定にあたり、理念にとどまらず、中小企業に寄り添い真に中小企業の支えになる、実効性に重きを置いた条例とすることに注力した。

その中で、①即戦力となるシニア世代の就労を促進するNEXTワークしずおかの開設や、地元メーカーによる市内小学校でのプラモデルづくり体験を通じた子どもへのづくりへの興味関心を高める取組といった「人材の確保・育成」、②WeWorkを活用した本市中小企業に関する情報発信や企業同士のビジネスマッチングの促進による「創業・新規事業の創出」、③設備導入の際の固定資産税をゼロとする特例の導入による「生産性の向上」の3つの施策に重点的に取り組んでいく。

### 保育士等の処遇改善と配置基準の見直し

質問者 杉本 護 (共産党)

幼児教育の無償化により生まれる財源はどの程度か。その財源を保育士等の賃金改善に活用すべきと考えるがどうか。また、保育士等の配置基準の見直しの考えはあるか。

**答弁** 幼児教育の無償化に伴い、市が独自に軽減してきた保育料の負担がなくなることや、令和元年度は地方が負担する経費を全額国費で賄われることから、約11億2,400万円の財源が生まれると見込んでいる。この財源は、国の方針を踏まえ、地域における子育て支援の更なる充実などに活用していく。

なお、保育士等の処遇改善については、市独自の処遇改善策を継続的に実施していく。

また、保育士等の配置基準の見直しについてはこれまでも基準改善や財政措置等を国に要望している。今後も現状の国基準より手厚い市独自の配置基準の運用を維持していく。